

事業報告書

I 事業の概況

1. 事業の経過

アベノミクスの影響で都市部の大手では景気も回復にむかい、経済の好循環が言われております。しかし、地方、特に小規模事業者には全くそれらの恩恵がみられず、逆に原材料価格の高騰を招き、依然として厳しい状況が続いた1年となりました。また、開業以来、10年20年と運営するなかで、生活環境の変化や世代の交代等で私共関連施設を取巻く環境が大きく変わってきております。

このような中、ここ数年続く赤字経営から脱却し、健全経営に回復できるように、専門のコンサルタントから指導を受けながら様々な取組みを行ないました。まず、食事メニューの見直しを実施して何でもありのメニューからシンプルにポイントを絞り、また、分かり易い値段設定や独自性を出すため美容効果の高いコラーゲン入りメニューを取入れるなどに変更しました。それに加え、自動販売機の撤去など館内全体をスリム化に見直すことで、効率良く収益をあげることが出来る体制作りに取り組み、少しずつ効果もみえてきております。

また、下半期では入館者数の落込みを食い止めるため特別回数券の販売やポイントサービスデーを設けるなどの販売促進に力を入れ、特別回数券だけで約500万円の売上をみる事が出来ました。

しかし、依然として入館者の減少に歯止めが掛からず前年度より約7千人減の130,436人となり過去最低を記録しました。

その結果、経営状況では、客単価の下落も大きく響くこととなり売上実績が2億1千万円まで落ち込み、販管費については人件費を前年度より400万円削減し、電気、ガス等光熱費の使用量も減らしたものの値上げの影響で経費がかさんだ結果、今期も力及ばず当期損失を計上し、当期純損失額が2,337万円まで膨らむ不本意な結果となってしまいました。

27年度より新潟市から新に3年間の指定管理者の指定を受けましたが、事業仕分けの俎上にのり当社及びびよんのび館にとって、今後の将来が懸かる3年間となり、1年1年が勝負となります。全てがお客様のために努力することで従業員全員が一丸となり、黒字転換の達成が出来るよう鋭意努力しているところです。新潟市ご当局をはじめ株主各位並びに関係各位の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上